

## これまでのポピュレーションアプローチの課題

- ① 健康日本21の目標項目（9分野70項目）は日常生活で意識し実践するには数が多過ぎること
- ② 健康日本21の目標達成に向けた効果的なプログラムやツールの展開が不十分なこと
- ③ 普及啓発が行政や外郭団体中心であり産業界を含む社会全体の活動に必ずしも至っていないこと

## 産業界も巻き込み“健やかな生活習慣”の普及定着を目指す国民運動の展開

- ① 重点分野の設定：健康日本21のうち、「運動・食生活・禁煙」に焦点
- ② ターゲットを明確にした戦略的で効果的な運動の推進、「子供の食育」などわかりやすいテーマ設定
- ③ 産業界を含めた社会全体として運動を展開：様々な実施主体による様々な実践活動を促進

国民運動推進  
の中核機関

### 健やか生活習慣国民運動実行委員会(仮称)

地域・職域における様々な取組を促進

- ・ 普及啓発キャンペーン、中央行事の展開
- ・ 全国の様々な取組事例を収集・評価・啓発、HPによる情報提供
- ・ 国民運動に参画する企業の登録制度などを検討・推進 …

各団体、学校、産業界、  
地方公共団体、マスコミ

国民運動への主体的参画

国

- ・ 国民への普及啓発
- ・ 科学的知見の蓄積と情報提供
- ・ 国民運動の基盤整備

産業界

- 社員・家族に対する普及啓発
- 社会貢献活動
- 経済活動を通じた普及啓発

事例

優れた事例  
・ 収集  
・ 評価  
・ 啓発

事例

地域社会

- 多彩な実践活動  
(食生活改善推進員の活動等)
- 管理栄養士、保健師等による実践の支援

連携

連携

実践団体・企業等の拡大  
活動内容の多様化

食育国民運動

早寝早起き朝ごはん国民運動

# 健やか生活習慣国民運動について

## 1 趣 旨

- 健康寿命の延伸を図り、「明るく活力ある社会」を構築するため、疾病の発症を予防する「一次予防」に重点を置いた健康づくりのための新たな国民運動として展開する。
- 特に、死亡原因の約6割、国民医療費の約3割を占める生活習慣病に着目し、日常生活の中での適度な運動、適切な食生活、禁煙を柱とした「健やかな生活習慣」を国民が実感することにより、国民の行動変容を促すことを目的とする。
- また、「健やかな生活習慣」が地域・職域に浸透し、国民の生活文化として定着していくことを目指して、国民運動の趣旨に共感し具体的に行動する団体の参画を得て「健やか生活習慣国民運動実行委員会」(仮称)を設置し、産業界とも連携を図る。
- さらに、食育など他の国民運動とも連携しながら、家庭、地域社会、学校、職場など様々な場における生活習慣病予防のための普及啓発及び実践活動を促進する。

## 2 国民運動推進スケジュール

平成19年度  
「国民運動準備会議」の設置

- ・団体を中心とした国民運動推進のための組織を準備
- ・プレイベント「健やか生活習慣フェスタ」開催(H20.3、池袋)

平成20年度  
国民運動スタート

- ・「健康日本21推進全国連絡協議会」の中に、国民運動推進組織として「健やか生活習慣国民運動実行委員会(仮称)」を新設
- ・民間企業の協力を得て、キックオフイベント開催(H20.11、赤坂)
- ・地域・職域での取組事例を収集

平成21年度～  
国民運動の普及、定着

- ・関係団体、民間企業と連携しながら効果的・戦略的展開を図る(事務局機能を強化し、集中キャンペーン実施、専用HP運営、効果的広報)
- ・参画団体および参画企業の順次拡大を図る
- ・食育の国民運動等との連携を図る